

お酒とたばこは 20 歳から！！



★ 身体への影響

・ 『飲酒』

20歳未満の飲酒は、20歳以上の場合と比較して脳の萎縮、短時間でのアルコール依存症の発症、臓器障害の危険性などが指摘されています。

また、理性や自制心を失い、けんかなどのトラブルを起こすおそれもあります。



・ 『喫煙』

20歳未満の喫煙は、20歳以上の場合と比較して健康を害する程度が強く、依存症になる危険性も高いと言われています。

また、覚醒剤や大麻など薬物の乱用につながるおそれもあります。



★ 20歳未満の飲酒・喫煙は法律で禁止されています

2022年4月から民法の成年年齢が18歳に引き下げられましたが、飲酒・喫煙に関する年齢制限については、20歳のまま維持されますので、これまで通り、20歳未満が飲酒・喫煙することはできません。

20歳未満への酒・たばこの販売は禁じられています。また、未成年者が飲酒・喫煙していることを知りながら、保護者がこれを止めなかったときは罰せられます。

★ 非行へのサインを見逃さない！

こどもは、「困っている」「つらい」等という思いを言葉にして伝えられず、問題行動という形でサインを出すことがあります。

問題行動は、深夜はいかいや喫煙などの不良行為をきっかけに、そのまま放置すると、本格的な非行へとエスカレートするおそれがあります。

様々な問題行動を早期に発見して正しく指導することが何よりも大切です。

周りの大人は、「たかが〇〇」などと見過ごすことなく、子供からのサインとして受け止め、真剣に向き合いましょう。

こどもたちに、なぜダメなのかをきちんと説明し、社会のルールを守る心を育てましょう。

